

# 委員会質疑

## 総務経済委員会

**問** 東日本大震災に遭い住宅を無くされた方が住宅借入金等特別税額控除を申請した時はどうなるのか

**答** 通常の場合、税額控除は建物が無いと適用できませんが、東日本大震災の場合は建物が無くても税額控除が受けられます。

**問** 河川に進入路として橋を架けた場合、普通河川の占用料単価は河川の占用料は1㎡当たり年間300円です。

**答** 災害対策費でMCA無線（設備並びに避難地対策がカットされ備蓄用品購入費が増額されている。命が助かることが先決ではないか

**問** 災害対策費でMCA無線（設備並びに避難地対策がカットされ備蓄用品購入費が増額されている。命が助かることが先決ではないか

**答** ては、海岸一帯を全部確認して順番を決めて補正をしていきます。

## 文教厚生委員会

**問** 5月21日の津波避難訓練では市民の逃げ場所が無かった地区もあるが、避難地の調査費は確保されているか

**答** 今回はコミュニケーション的に進めていく方が良く考えており、予算的な面も含めて地域の皆さんにお願いく方法をとっていきたく考えています。

**問** 御前崎地区の戸別受信機導入をどう考えているのか

**答** 浜岡地区の戸別受信機は1台4万円ですが、デジタル方式の機器はこれよりも高価になります。今後は何もかもが無償というのは難しいので、差額の取り扱いについて議論していきます。

**委員間での討議**  
補正予算の減額について  
核燃料サイクル交付金関係事業の予算カットにより、将来の展望がなくなるのではないが、緊急性のある事業を優先し早期に取り組みべきではないか等の協議の結果、附帯決議を提出するべきであるという委員全員の意見がまとまりました。

附帯決議の内容は  
2ページ上段に掲載



**問** 拠点校の事務が臨時職員となるが、対応は可能か

**答** 拠点校は事務量も多く正職員を充てたいが、人事編成上臨時職員となります。事務処理は財務会計などソフトで行うので、使用できる人を募集対象としています。

**問** 浜岡保育園の雨漏りほどの程度か

**答** 横風が吹くなど、風向きで起きる現象です。雨漏り箇所を特定し、早急に対策する必要があります。

**問** 文化財保護事業で、梶ヶ谷横穴群の発掘は継続するのか、また他の古墳は

**答** 梶ヶ谷は本年度初めて行う予定で

## 病院の初期対策交付金対象事業計画の変更内容

**問** 計画した事業は機器購入費、改良工事費1億5,700万円を初期対策交付金として見込みました。今回先送りした事業も含めて7,700万円を減額した結果8,000万円と半減しました。

**答** 発掘調査を市民に公開しているのか  
出土品は旧佐倉公民館に保管しています。展示場がないため、時々図書館に展示し、市民へ公開しています。学校へは出前講座を行い、文化財に関心をもってもらいたいという努めています。

**問** 東小学校の屋外トイレの現在の利用状況は

**答** 屋外トイレは体育の時間か社会体育で夜間使用する位です。屋外トイレ・倉庫は老朽化による工事で早い段階での改修が必要です。

**問** 体育施設事業で、テニスコートの改修は電源三法工事対象か

**答** 5,500万円の減額中、プール外壁と総合運動場のテニスコート芝張替えが電源三法工事でした。

## 原子力対策特別委員会

**問** シビアアクシデント（炉心の重大な損傷）への対応

**答** 福島第一原発の事故を踏まえ、経済産業大臣は3月30日、発電所に対し全ての機能を交流電源を供給する機能、原子炉を冷却する機能、使用済燃料を冷却する機能など、3つの機能が喪失した場合においても炉心の損傷および使用済燃料の損傷を防止するための緊急安全対策を講ずるよう指示しました。5月5日には経済産業大臣がこれらの実施状況を視察し、翌日6日に安全対策が適切に実施されている旨が公表されました。

**問** 最近の病院経営状況は

**答** 外来、入院とも平成22年度を上回る収益でした。今後は回復期リハビリ病棟の増床、新たに常勤医師が赴任した眼科の入院患者も月10人程度見込んでいます。

**問** 眼科について白内障手術も日帰りが可能か。また市民へのPRは

**答** 常勤医師が来ましたので手術が可能になり、白内障の手術は日帰りももちろん、1〜2日入院して様子を見る患者さんもおられます。多くの患者さんに受診していただけるようPR活動に努めます。

## 原子力対策特別委員会

**問** シビアアクシデント（炉心の重大な損傷）への対応

**答** 福島第一原発の事故を踏まえ、経済産業大臣は3月30日、発電所に対し全ての機能を交流電源を供給する機能、原子炉を冷却する機能、使用済燃料を冷却する機能など、3つの機能が喪失した場合においても炉心の損傷および使用済燃料の損傷を防止するための緊急安全対策を講ずるよう指示しました。5月5日には経済産業大臣がこれらの実施状況を視察し、翌日6日に安全対策が適切に実施されている旨が公表されました。

**問** 6月7日には、経済産業大臣より、万一炉心に重大な損傷が発生した場合でも迅速に対応できるよう指示されました。これらを踏まえ、当委員会としても、現状把握のため現場視察を実施しました。

**問** 第一次御前崎市総合計画（平成18年度から平成27年度）後期基本計画の一部修正案が提出されました。

**答** 今回の修正案は文言や平成27年度の目標値と3月11日の東日本大震災の教訓などを受け、現在の状況や主な取り組みの一部が修正されました。災害に強い防災体制の整備では、地震津波の被害を想定しソフト、ハード対策や複合災害を想定した防災計画を策定し、訓練を実施することが追加されました。また、原子力発電に関する理解促進では、



**問** 徹底した情報公開が必要であることから、安全対策状況を迅速かつ正確に発信することなどが追加されました。

**答** 実施計画については、現時点での平成23年度から3ヶ年の財政計画見込みが示されたが、現在見直し作業中であり、事業は財政的な裏付けがあつて計画されるものであり改めて協議することとなります。

## 総合開発計画策定特別委員会